

ほーほーどり

我孫子野鳥を守る会

No. 233

2013年

7～8月号

行 事 案 内

7月手賀沼探鳥会とカウント

期 日 7月14日(日) 雨天中止
集 合 我孫子市役所 午前9時
案 内 梅雨が明けて、いよいよ夏本番。
沼畔はオオヨシキリやコアジサシ、
ヨシゴイなどの夏鳥達で賑わって
いることでしょう。
手賀沼の夏を満喫しましょう。
解 散 正午
担 当 小林(寿)、野口(紀)

集 合 手賀沼ピオトープ 午前9時30分
案 内 7-8月は草が繁茂するため叢の小
鳥は観察し難くなりますが、オオヨ
シキリ、セッカの囀りが聞こえ、遠
くでホトトギスの鳴き声が聞こえ
るようになります。
昨年は野鳥を7月14種、8月12
種観察出来ました。この季節は蒸し
暑くなりますが、野草の花、木の実、
蝶、蜻蛉、蝉、バッタ等の昆虫、蛙
等が見られます。観察できる野鳥の
種類は少なくなります。手賀沼周
辺の水田、沼、斜面林の風景、草木、
昆虫等を観察しながら探鳥をしま
しょう。参加希望の方は下記までご
連絡下さい。

8月手賀沼探鳥会とカウント

期 日 8月11日(日) 雨天中止
集 合 我孫子市役所 午前9時
案 内 オオヨシキリの声も聞こえなく
なりましたが、葦原を飛び交うヨ
シゴイ、コアジサシのダイビング
が見られます。そしてシギ・チも
そろそろ姿を見せる頃です。
暑い盛りです。水分の補給を忘れ
ずに。
解 散 正午
担 当 北原

解 散 午前11時30分
担 当 鈴木静治
Tel : 080 3121 4757

ホタルの夕べ

期 日 8月4日(日) 雨天中止
集 合 東我孫子駅前 午後7時
持 参 懐中電灯、虫除け対策
散 内 午後8時を目安。東我孫子駅前
解 案 恒例の岡発戸・都部でのホタル鑑
賞会です。谷津田は整備されてき
て、水辺や湿地の生物も増えてき
ています。去年は252頭でした。
今年は去年を超えられるでしょ

7月、8月ピオトープ調査

期 日 7月4日(木) 雨天延期
8月1日(木) 雨天延期

うか。非常に楽しみです。尚これは我孫子市鳥の博物館友の会との共催になっています。

申込 不要
担当 木村、染谷

映 写 会

期 日 7月28日(日) 9:30~11:45
場 所 水の館 3階研修室
案 内 会員の撮った写真やビデオを映写して楽しめます。
作品を発表する方は7月20日(土)までに、相良宛写真の種類・枚数またはビデオの上映時間を連絡してください。
写真はスライド、デジタル画像のいずれでも構いません。
但し、内容は鳥や動物など自然関連のものとし、一人40枚以内とします。
デジタル画像ファイルは下記の通りでお願いします。
メディア: USB メモリーまたは CDR
ファイル:一括コピーできるよう発表者名のついたホルダーに収納
ファイル名: 番号・題名・撮影場所・日付・拡張子
例 01 ムナグロ 発作 120506.jpeg (発作で 12/05/06 撮影)
画像サイズ: 長辺 800~1280 ピクセル以内(昨年までとは変更になっています。)
発表作品は当日ご持参ください。但しデジタル画像は開始前にパソコンにインストールしておきますので午前9時までに野口宛提出してください。
申 込 相良直己まで
Tel: 04 7191 3108
担 当 相良、野口(隆)

懇 親 会

期 日 7月28日(日) 12:30~15:00
場 所 夢庵我孫子若松店
我孫子市寿2丁目24-9
TEL 04 7184 3223
会 費 1500円(飲み物は各自別途負担になります)
案 内 毎年恒例の映写会後の懇親会は女性の参加も期待いたしまして「ランチで懇親会」を企画しました。きっと鳥談議に華が咲くことでしょう。
ふるってご参加ください。
申 込 小林寿美子まで
Tel: 04 7188 5173
担 当 小林(寿)、野口(紀)、蒲田

茨城南部 シギチ探鳥会

期 日 8月25日(日) 雨天中止
集 合 我孫子駅北口 午前8時
案 内 シギ・チドリなどを探します。詳細ルートは、昨年案をベースに最新情報や下見の結果を加味して決めます。
去年はアマサギが印象的でした。
交 通 自家用車に分乗です。同乗者は運転者に1人1500円をお支払下さい。車を提供できる方はその旨をご連絡下さい。
持 物 観察用具、雨具、昼食・飲料水(途中のコンビニで購入可)
申 込 松田幸保まで
Tel: 04 7182 8307
担 当 松田、松本

第1回「守る会 野鳥サロン」のご案内

趣 旨 我孫子野鳥を守る会の目的を考え、次なる50周年に向けて会員向けの「野鳥サロン」を開催します。楽しい雰囲気（茶菓あり）の中で、お互いの想いを出し合い、野鳥や環境などの知識も自然と身に付き会員同士の親睦の輪が広がっていくことを期待します。

日 時 7月5日（金）10：00～12：00
場 所 我孫子北近隣センター
並木本館会議室3と2
Tel：04 7157 4517（我孫子駅北口から徒歩7分）

話 題 「身近な野鳥の生態について」
日頃、皆さんが見聞きしている例を自由に話し合ってみませんか。
話の糸口：問野吉幸（シジュウカラの一例）
会 費：一人300円（茶菓代ほか）
担 当：我孫子野鳥を守る会事務局
申 込：野口隆也 TEL/FAX 04-7163-7898
<次回は9月開催予定>

第10回手賀沼学会大会開催のお知らせ

日 時 7月6日（土）13：00～ 無料
会 場 中央学院大学 30周年記念館 611教室
内 容 記念講演 「水問題と私」
講師 大久保皓生氏（手賀沼学会顧問・前中央学院大学学長）

記念講演 「手賀沼のこれから」
講師 福嶋浩彦氏（前我孫子市長・前消費者庁長官・中央学院大学教授）
特別講演「手賀沼と生物多様性 東日本大震災から学ぶ」
講師 堂本暁子氏（前千葉県知事）
手賀沼学会展示
我孫子野鳥を守る会としては、JBF2012に出展したパネル10枚を展示します。
7月5日（金）16時以降にパネルを展示する予定。展示作業へのご協力をお願い致します。

7月役員会案内

日 時 7月14日（日）13：00～16：30
場 所 水の館 3階 研修室
議 題
1. JBF2013 出展について
2. 会報234号掲載予定記事について
3. 平成25年度第一四半期会計報告
4. 第2回「守る会野鳥サロン」について
5. 報告事項
関係団体関連報告
6. その他（議題のある場合は野口隆也までご連絡ください）

行事報告

4月手賀沼探鳥会

調査日時 2013.4.14 9：00～11：45
晴 強風 気温19
冬鳥が去った沼は鳥影が少なく、お目当て

のハヤブサもいないので探鳥班の移動ペースが速い。途中から吹き始めた風が次第に強風となってしまったので、余計に鳥が探しにくくなった。お立ち台でワシ・タカが出現してくれたのが、せめてもの救いか！
強風で帽子を飛ばされる人が続出したの

で、危険回避のうえから早めに終了した。
 <認めた鳥> カイツブリ、カワウ、ダイサギ、アオサギ、コブハクチョウ、カルガモ、コガモ、トビ、サシバ、チョウゲンボウ、キジ、バン、オオバン、イソシギ、ユリカモメ、セグロカモメ、カモメ、キジバト、カワセミ、ヒバリ、ツバメ、ハクセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ツグミ、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス

計 30 種 番外 カワラバト

<探鳥班> 大久保陸夫、金子雅幸、猪爪敏夫、武藤康之、石渡成紀、松本勝英、畠中暁美、村松寿夫、船津登、田中恒雄、西嶋昭生、間野吉幸、川村美恵子、藤川敏彦、佐々木隆、常盤孝義、榎本右、類地佑子、相良直己、田丸喜昭、小玉文夫、金子幸子、川越久枝、天野睦子、西城猛、西城厚子、弘實さと子、松下勝子、小林博之、小林美智子、小澤淳宏、佐藤弘美、野口隆也、鈴木静治、古出洋子、小林寿美子、カクボサチヨ(担当)松田幸保
 参加者 38 名

<カウント班> 田中功、木村稔、染谷迪夫

調査日時 2013.4.14 9:15~11:50

晴 南風強 気温 15

調査種	上沼	下沼	合計
カイツブリ	4	2	6
カワウ	22	28	50
ダイサギ	0	1	1
アオサギ	1	1	2
コブハクチョウ	13	3	16
カルガモ	18	4	22
コガモ	23	2	25
オオバン	5	3	8
ユリカモメ	10	27	37
セグロカモメ	2	0	2
合計	98	71	169

<ピオトープ班> 猪爪敏夫、谷山晴男、鈴木静治、間野吉幸、金子雅幸、蒲田知子

調査日時 2013.4.4 9:30~11:30

快晴 無~弱風 19~24

快晴、暖かく穏やかな日和、風が無く沼の水面僅かな波。沼岸の桜は散り始める。桜・柳・ハル榆等の新芽・若葉が綺麗。斜面林でコジュケイ、ウグイスの囀り。ピオトープの枯れた葦、蒲が倒れ野鳥観察し易い。アリスイ、クイナを含め 22 種の野鳥を観察、コブ

ハクチョウがピオトープの池の近くで巣作り。沼の水位高い。

<認めた鳥> カイツブリ、カワウ、コサギ、アオサギ、コブハクチョウ、カルガモ、コガモ、トビ、キジ、クイナ、バン、オオバン、ユリカモメ、セグロカモメ、アリスイ、ヒヨドリ、モズ、ツグミ、シジュウカラ、ホオジロ、アオジ、ハシボソガラス 計 22 種

5 月手賀沼探鳥会

5 月 12 日(日)に定例探鳥会に代えて、バードウィーク手賀沼探鳥会を行いました。手賀沼親水広場で開催された Enjoy 手賀沼! に併せた行事です。

探鳥会には 21 名の市民の方と 23 名の会員の合計 44 名の参加がありました。

コースはふれあい道路を東進し、高野山新田の信号の先で右折、遊歩道へ入り、滝下広場から遊歩道を戻りました。

今回の鳥合わせは鳥の博物館で行いました。市民の方と会員のマンツーマンに近い探鳥会となり、多くの市民の方が恒例の鳥ビンゴを完成、景品の写真カードも大変好評でした。

<認めた鳥> カイツブリ、カワウ、ダイサギ、アオサギ、コブハクチョウ、カルガモ、コガモ、キジ、バン、オオバン、コチドリ、キジバト、カワセミ、コゲラ、ツバメ、ハクセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ツグミ、ウグイス、オオヨシキリ、シジュウカラ、メジロ、ホオジロ、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス 計 29 種

番外 アヒル、カワラバト

<参加会員> 船津登、相良直己、田中恒雄、類地佑子、野口紀子、染谷迪夫、金子雅幸、間野吉幸、古出洋子、小澤淳宏、桑森亮、鈴木静治、六角昭男、金子幸子、川越久枝、松下勝子、橋本了次、西嶋昭生、小林秀美、田中功、小林寿美子、小玉文夫、野口隆也
 計 23 名

<カウント班> 木村稔、田中功、染谷迪夫

調査日時 2013.5.14 9:00~12:00

晴 東風微風 気温 20

調査種	上沼	下沼	合計
カイツブリ	3	4	7

カワ	28	36	64
ダイサギ	3	0	3
チュウサギ	0	1	1
コサギ	0	2	2
アサギ	9	2	11
コバクチョウ	12	4	16
カガモ	7	4	11
オバン	1	2	3
タシギ	1	0	1
合計	64	55	119

<ピオトープ班> 猪爪敏夫、谷山晴男、鈴木静治、間野吉幸、金子雅幸、池田日出男、船津登

調査日時 2013.5.2 9:30~11:35

曇りのち晴れ 弱~中位の風
19-21

雨上がり後、晴れて眺望好く、柏のビル街・後ろの山が見える。沼の水位高く、水面は静か。斜面林、ピオトープの木々の新緑が綺麗。渡りの途中のコムクドリが柳の木で採食、魚を啜って飛ぶアオサギを含め 20 種の野鳥を観察した。

<認めた鳥> カイツブリ、カワウ、アオサギ、コバクチョウ、マガモ、カルガモ、キジ、バン、オオバン、ヒバリ、カワセミ、ツバメ、ヒヨドリ、モズ、ホオジロ、カワラヒワ、スズメ、コムクドリ、ムクドリ、ハシボソガラス 計 20 種

葛西臨海公園探鳥会

4月20日

初見 オオハシシギの夏羽

丸嶋紀夫

この日は朝からどんより曇っていて、1ヶ月前に戻ったような気温で肌寒かった。午前9時に葛西臨海公園駅前に集合。まず、鳥類園の擬岩観察舎の下の池を目ざした。途中の桜並木はところどころの八重桜には花はまだ残っていて、オオシマザクラなどにはさくらんぼの青い実がついていた。

擬岩に到着すると、この日は7時半頃干潮の小潮であり、干潟は水鳥にとっては採食するのに都合のよい状態であったが、鳥は少

なかった。とはいえ、アオアシシギ、コチドリなどとともにおオハシシギの夏羽に出会えた。シギ・チドリ類ハンドブックによれば、おオハシシギの4月ごろの夏羽は「下面の各羽に横班と白い羽縁が目立つ」とあるが、まさにその通り。11月の蕪栗沼の探鳥会で見たおオハシシギは冬羽であったが、今回の夏羽は私には初見であった。

擬岩にいたウォッチングセンターのスタッフの話では下の池周囲の林にはムシクイ類が入っているとのこと。この時点では大いに期待した。

更に下の池周りの道を進んで、池を挟んだ対岸側の観察舎に到着。擬岩側を眺めると、アシの付近にクイナ、タシギが豆粒大に見えた。クイナは干潟を小走りに移動したり葦原に入ったりとせわしない。

東なぎさ近くの旧江戸川河口では、ユリカモメが集団で水面に浮かんだり飛び上がったりしているのが遠くに見えた。頭部は黒いものが多く、もうすぐ繁殖地へ移動するものと思われる。

11時過ぎにウォッチングセンター到着。上の池を望むセンター脇の屋外テーブルで早めの昼食。上の池にはキンクロハジロやハシビロガモなどのカモ類がまだ残っていた。オカヨシガモ、オナガガモも1羽ずついた。

その後海岸の通りを鳥見しながら移動する。当初、西なぎさで探鳥する予定であったが、天候の不安もあり、通過する。先行して西なぎさに行った人の情報ではスズガモが多数みられたが、ミヤコドリはいなかったとのこと。

海岸線を離れ、秋の探鳥会でキビタキが見られた道に入ればしばらく進むと、オナガの群れが鳴きながら木々を移動中。皆さんしばらくぶりにカメラを向ける。オナガはサクラの木についている青虫を採食しているようだ。

その後も期待していた鳥には出会えず、13時過ぎに水族園前の広場に到着して、鳥合わせ。解散後、しばらくして小雨が降り始めたので、よいタイミングであった。

今回の探鳥会はカモ類など冬の鳥の名残りはあったものの、期待していたような春の渡りで立ち寄る山野の鳥や水辺の鳥が見られず、残念であった。

【幹事報告】

春のシギチ渡り探鳥の定番となった葛西臨海公園でしたが、天候は4月も半ば過ぎというのに冬の寒さで手袋が欲しいほどでした。潮の状況も昼過ぎには満潮で干潟はなく、シギチ探鳥には今一でした。観察ルートは、いつもの通り鳥類園を回り、観察センター付近で早めの昼食後は寒さも強くなり、満潮ということもあって西なぎさはスキップし、海岸線から小川のある観察路を回りました。最初の観察ポイントの疑岩観察窓でシギチ5種が観察でき、コチドリが多く鳴きながら飛び交っていました。上の淡水池ではキンクロやハシビロなどがまだ残っていて楽しめました。ムシクイやオオルリが入っているとの情報がありましたが、林でも鳥の声は少なく、オナガが姿を見せたくらいでした。午後は雨が降りそうなので、探鳥は早々に切り上げ、13時30分頃には解散し、その後しばらくして雨が降り始めました。観察の間は何か天気もって良かったです。参加者の皆さん、寒い中お疲れ様でした。

<認めた鳥> カイツブリ、カンムリカイツブリ、カワウ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、カルガモ、コガモ、オカヨシガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、ハシビロガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、スズガモ、クイナ、バン、オオバン、コチドリ、オオハシシギ、アオアシシギ、イソシギ、タシギ、ユリカモメ、セグロカモメ、キジバト、コゲラ、ツバメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、ツグミ、シジュウカラ、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、オナガ、ハシボソガラス、ハシブトガラス 計39種 番外 カワラバト

<参加者> 田丸喜昭、田丸メリールイス、鈴木静治、川上貢、大久保陸夫、間野吉幸、船津登、田中恒雄、相良直己、古賀嗣朗、浅野利幸、丸嶋紀夫、柴本三弘、柴本法子、横濱由利 (幹事) 松田幸保、桑森亮 計17名

筑波山探鳥会

5月3日

ニリンソウ、スミレで春を体感

小山雄司

欠席者があり、それでも総勢27名の大世帯で車7台に分乗し我孫子駅前を7時定時出発、一路筑波山へ走る。生憎と曇り空で心配したが、筑波山がはっきりと見え始めた頃青空も広がり、渋滞もなく、田植えの終わった田園風景を満喫しながら9時に駐車場へ無事到着。早速、支度の終わった順に急な山道を歩き始めたが、幹事さんが前もって調べた連休中でも混まないルートのお陰で人も少なく探鳥には好条件でした。凸凹道とキャタピラの轍で滑り易く、転ばないように足元に集中する為、鳥の声や鳥影におろそかになりウグイスだけのように感じる。昔、子供達と登った時はジグザグコースで、大きな石ころ道を割合楽々と歩いた記憶でしたが、家内から最初女体山から歩き、男体山を廻ってケーブルカーで下山した事を聞き、合点がいました。時々立ち止まり、一休みしながら耳を澄まして反応がなく又歩く。急に聞き慣れない鳴き声に思わず辺りを見たが姿もなく、又教わる人も見えず判らずじまい。浅学の至りでした。後で先輩からソウシチョウと教わり納得。足元の斜面にニリンソウがきれいに咲き、スミレもそこかしこに、尚も歩き続けると頂上へ1kmの案内標識を見る。ホットして前方を見ると階段又階段の連続に思わずガックリ、やっとの思いで茶屋の並ぶ広場に10時頃到着し一休みしているとホオジロがいると聞き、初めてのシャッターチャンスをゲット。

暫く待てども中々後続隊が現れず、ケイタイで交信後先発する事になり時計まわりに出発。昇り階段の段差がまちまち、歩幅も違い歩き難い事この上なく、救われたのはスミレが咲き道端に所々、マムシグサが色鮮やかにオイデオイデと手招きしているようにも見え、気分が和みました。暫くするとソウシチョウの声、仰ぎ見ると木立をせわしなく動きまわる姿、双眼鏡でまず確認しカメラを向けても枝が邪魔して収まらず、その中足を踏み外し、尻もちをつく大失態でボケました。一巡して元の広場に近づいた時、「今キビタキがいた」の声に皆思わず緊張したが、残念飛び去った後でした。上から下ってきた人が近づき過ぎたようです。やっと元の広場へ辿り着くと早や涼しい顔で椅子席に野口さん、中野さんを見ました。流石ベテラン、脱帽。

その後駐車場に全員が揃い、昼食の場所「推尾山薬王院」境内に移動し、各自お弁当を広げていると塔の屋根にキセキレイを見つけ双眼鏡、シャッターと賑やかになりました。野口さんの解説によると とのことでした。食後の鳥合わせではなんと 29 種との成果に驚きました。全員と一緒に同じコースを移動した訳でもなく、私は片手位の有様にまだまだと感じた次第です。

今日の探鳥会は健脚向きの歩こう会とも感じましたが、久しぶりに春を体感する良い一日に満足でした。1 時半現地自由解散、帰りの畦道にアオサギが一羽立っていたので合計 30 種。幹事・ドライバーの皆さん、有難うございました。

【幹事報告】

夏鳥でよく感じるのは、鳴き声はすぐ近くで聞こえているのに姿が見つけれない... というもどかしさ。それだけに観られた時の喜びは大きくなる。

参加の 27 名が各自のペースで、山道を登り始めたのは 9 時丁度。道端では色々な草花が目を楽しませて呉れるが、雑木で覆われた山道では鳥影を探す事はかなり難しい。アオゲラ・ヒガラなどがすぐ近くで鳴くが見つけれないし、ツツドリも大きな声を出しているが、やはり見つからない。ほとんど花や草木だけを楽しみながらの登山となった。

しかし山頂へ到着し、かなり見通しが効く自然研究路に入ってから、やっと状況は好転。キビタキが、ソウシチョウが、オオルリ・ミソサザイ・ヤブサメなどなどを次々にゲット。私は を、私は を見た... と、満足と羨望の会話が飛び交う様になった。

下山途中、コルリ？の声かと思ったが、何度聞いても前奏のチッチッが聞こえない。800m の筑波山でまさかいるとは思っていなかった、コマドリの声だ。

様々な出会いを楽しみ、巨木が生い茂る薬王院で昼食・写真撮影の後、解散となった。< 認めた鳥 > アオサギ、カルガモ、トビ、ノスリ、ツツドリ、アオゲラ、アカゲラ、コゲラ、ヒバリ、ツバメ、キセキレイ、ヒヨドリ、ミソサザイ、コマドリ、ジョウビタキ、ヤブサメ、ウグイス、センダイムシクイ、キビタキ、オオルリ、エナガ、ヒガラ、ヤマガラ、シジュウカラ、メジロ、ホオジロ、カワラヒ

ワ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス

計 30 種 番外 ソウシチョウ

< 参加者 > 青木典子、池内大典、植田啓介、大久保陸夫、小澤淳宏、小山雄司、小山和子、桑森亮、古賀嗣朗、小玉文夫、小玉信子、小林博之、小林美智子、鈴木静治、染谷迪夫、田中恒雄、中野久夫、野口隆也、野口洋子、畠中暁美、船津登、松下勝子、松本勝英、松本葉子、間野吉幸（幹事）北原建郎、金子雅幸 計 27 名

奥日光探鳥会

5 月 25 日、26 日

戦場ヶ原の新緑と探鳥

金子幸子

前日まで暑い日が続いていたが、急に涼しくなり、服装をあれこれ。現地は天気はまあまあなので一安心。我孫子北口を、22 名で 7 時に出発する。

探鳥会の要領と地図が配られ浮き浮きしていると、例の感想文の件、誰かの案でアミダくじとなった。中程に印をつけ、幹事さんが当りの方から上に辿っていく、どんどん自分の方に追ってくる。大当たりである。アー楽しさ半減・・・。

高速は順調に進み、爽やかな新緑、トウゴクミツバツツジが鮮やかになり、中禅寺湖も見られる様になった。10 時過ぎには赤沼駐車場に着く。外は暖かい。光徳口から湿原に入り、シジュウカラのお出迎え、高い木に鳥の影が見えるが私には解らず先へ進む。川幅の広がった所にキビタキ、キセキレイが倒木の上を飛び回っている。マガモが川の中程でゆったり、留鳥なのか。泉門池あたりは大勢の人が川の側まで下りて遊んでいる。戦場ヶ原自然研究路に入る。木道の修理をしている個所が多く、上を見ていると足元が悪く、皆さんの後について行くのがやっとです。そんな時、黒いベレー帽のコガラが近くで見られた。赤沼に戻り、バスで三本松に移動し昼食となった。

その後金精峠を越え、菅沼キャンプ場へ。菅沼池には、キンクロハジロ、トビと何かが見られたが、60 円の入場料分見ていないと

林の方を探す。池には大きな犬が岸边近くで泳いでいたが、近くに来たとき体重が70kgもあるとのことでびっくりする。早めに宿に引き上げる。夕食後はたのしい飲み会になった。

早朝探鳥会は6時30分より、イワツバメの巣が多数、せわしく飛びまわる。その奥に入っていくとグレンデになっていて後方には、湯ノ湖が朝日に輝いていた。梢ではアカハラがキュロロー、そのなんとすばらしい囀り、あたり一面に響く。姿はなかなか見られず、地上近くでしか見た事がなかったので、なぜと聞くと、繁殖期の雄だと知りました。帰りにはゴジュウカラが幹を小刻みに飛び、写真を撮る人は大変です。目にかかったシャープな黒い筋がきれいでした。気分よく朝食に付く。前庭ではキセキレイ、ハクセキレイも朝食中です。

9時に出発。湯滝を見学し鹿除けの門をくぐり湯川沿いを探鳥する。倒木の多さにびっくり、豪雪の為なのかまるで橋が架かっているようだ。少し歩き休憩していると高い木の上にエゾムシクイ？、皆さんの“鳥の眼”に感心です。その時、上空に猛禽が飛んでいるが、一瞬のことで翼の形でも判断つかず。鹿除けの回転ドアを通り、小田代ヶ原に入る。葦の中にアオジが見える。声だけであんな所まで見つけられるのはすごい一言です。道沿いにコガラが2羽飛びまわる。小田代ヶ原の展望台で休憩。貴婦人の白樺を眺めながら、カッコウの声にうっとり。スコープに入れて戴いた。尾羽をピンと上げ、白黒のコントラストがくっきり、やっと会えました。

予定の昼食地を変え、木の根に座り宿調達の大きなおにぎりをほおばり、先ほど見たカッコウを目の前で見たいねと話していた時、大きな鳥が目の前を横切り、真正面の白樺に止まった。食事も途中で、写真を撮る人、双眼鏡で見る人と、大騒ぎになりました。2度も見られたので感激です。しかし雲行きが怪しくなり、早々と引き上げる。アカゲラのドラミングが聞こえ、木の上に下尾筒部分の赤が見えた。後ろ髪を引かれる思いで先を急ぐ。ポツリポツリときた。カミナリも鳴り、石楠花橋まで0.8km、古出さんのストックを借り、ノルディックみたいにして下る。日頃の運動不足を思い知らされる。やっと竜頭の

滝近くの急な階段を下り、ようやく駐車場に辿り着く。雨がだんだん激しく、あと少し遅ければびしょ濡れのところでした。やはり経験者の多い人たちのお陰です。雨と雹が混じり外に出られない状態なので、水産総合研究所は中止となりました。前が見づらい中、いろは坂を下るとうその様な天気になり、酒屋、コンビニで調達したお酒で和気あいあいとなる。野口夫妻と染谷さんとの「あ、うん」の論議に花が咲き盛り上がりました。そうこうしている内、我孫子に到着、楽しいバス旅、いや探鳥会でした。

私はあまり探鳥できませんでしたが、カッコウに会えたことが最高でした。

幹事さん、皆様お世話様でした。

【幹事報告】

奥日光探鳥会は昨年も参加者の皆さんに大変好評だったので、今年も実施することになった。当日は天候にも恵まれ、午前7時、我孫子駅北口からバスは順調に進み、10時半ごろには光徳口に到着、戦場ヶ原に入り湿原を探鳥。木道を辿りながら次から次と出てくる鳥たちに皆さんワクワク。おかげでなかなか行程も進まず、幹事としては「先に進んでください！」と催促する始末。途中湿原を流れる綺麗な湯川や雄大な男体山も楽しみながら2時間余り後に赤沼に到着。バスで三本松まで移動し、昼食をとる。その後、金精峠を超えてまだ雪が少し残る菅沼・丸沼を探鳥するが、この日は鳥影少なく、早々に宿舎の「休暇村日光湯元」にチェックイン。湯量豊富な温泉で疲れを癒し、美味しい夕食でお腹を満たし、そして最後は幹事部屋で2次会開催。

翌朝も6時30分から、ホテル周辺の湯本スキー場や湯ノ湖で早朝探鳥をし、9時に出発し、湯滝を観瀑の後、記念撮影をして、湯川沿いに探鳥開始。今回は小田代ヶ原ルートを探鳥。昼食をとっている頃から少し雲行きが怪しくなり、突然雷鳴が聞こえだんだん近づいてくる気配。石楠花橋経由で急ぎ下山、竜頭ノ滝の滝壺まで来たところで、大粒の雨が降りだした。待っていたバスに飛び乗った途端、雨はあられ交じりの雷雨となり、この後予定していた中禅寺湖畔菖蒲ヶ浜探鳥や水産総合研究センター見学はやむを得ず中止し、一路我孫子へ帰ることになった。最後

の雨は大変残念であったが、たくさんの鳥たちに会うことができ、全員楽しく無事探鳥を終えることができた。

<認めた鳥>カワウ、チュウサギ、アオサギ、マガモ、カルガモ、キンクロハジロ、ミサゴ、トビ、ノスリ、オオバン、オオジシギ、キジバト、カッコウ、ホトトギス、アカゲラ、コゲラ、ツバメ、イワツバメ、キセキレイ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ピンズイ、ヒヨドリ、モズ、ミソサザイ、ジョウビタキ、ノビタキ、アカハラ、ゴジュウカラ、ウグイス、メボソムシクイ、エゾムシクイ、センダイムシクイ、キクイタダキ、キビタキ、サメ

ビタキ、エゾビタキ、コサメビタキ、エナガ、コガラ、ヒガラ、シジュウカラ、メジロ、ホオジロ、アオジ、イカル、ニュウナイスズメ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス 計 52 種 番外 カワラバト

<参加者>間野吉幸、野口隆也、野口洋子、鈴木祐爾、鈴木幸子、小玉文夫、小玉信子、金子幸子、船津登、小山雄司、鈴木静治、桑森亮、松本勝英、古賀嗣朗、古賀道子、染谷迪夫、松田幸保、古出洋子(幹事)木村稔、六角昭男 計 20 名

鳥 だ よ り

- 3.21 [発作] コミスク(1) 林のフェンス、木の繁みにとまる 鈴木静治
- 3.22 [北新田] クサギ(7) 青山水門で1羽、4号排水路で6羽 中野久夫
- 3.22 [北新田] ヒ(1) 飛翔 中野久夫
- 3.22 [北新田] ツバメ(2) 2号排水路上を飛翔 中野久夫
- 3.23 [千間橋] ヒ(1) 川の上空を飛ぶ 鈴木静治
- 3.23 [発作] ツバメ(4) 川の上を飛び回る 鈴木静治
- 3.24 [北新田] クサギ(7) 4号排水路で 中野久夫
- 3.24 [北新田] チョウゲンボウ(1) 電柱から飛去 中野久夫
- 3.24 [酒井根6丁目 下田の森] アカウ(1) 9:55、斜面林の中を鳴きながら移動 飯泉仁
- 3.25 [発作] コミスクsp(1) 林より田に飛び出す 鈴木静治
- 3.26 [江蔵地] ヒ(1) 河原上空を飛ぶ 鈴木静治
- 3.26 [下沼田] ノスリ(1) 電柱上にとまる 鈴木静治
- 3.27 [北新田] チョウゲンボウ(1) 電柱から飛去 中野久夫
- 3.27 [布佐] ヤマガラ(1) 鳴き声が聞こえる 鈴木静治
- 3.28 [北新田] クサギ(10) 4号排水路で 中野久夫
- 3.29 [江蔵地] ヒ(3) 柳の花穂を啄む 鈴木静治
- 3.29 [江蔵地] アトリ(1) 木の枝にとまる 鈴木静治
- 3.29 [江蔵地] ヒ(1) 田、川の上空を飛ぶ 鈴木静治
- 3.30 [下沼田] ノスリ(1) 鉄塔下部にとまる 鈴木静治
- 3.30 [千間橋] ヒ(1) 川の上空を飛ぶ 鈴木静治
- 3.30 [発作] オハクチョウ(2) コハクチョウと群れて泳ぐ 鈴木静治
- 3.31 [酒井根6丁目下田の森] アカウ(1) 14:00、南側斜面林から鳴き声 飯泉仁・飯泉久美子
- 3.31 [つくしヶ丘5丁目] アカウ(1) 10:18、木の幹を鳴きながら登り、樹皮をはがし採食 飯泉仁
- 3.31 [発作] オハクチョウ(2) 川の葦に頸を入れ採食 鈴木静治
- 4.01 [岡発戸] ヒ(3) 上空高く飛ぶ 鈴木静治
- 4.02 [北新田] クサギ(9) 4号排水路で 中野久夫
- 4.03 [北新田] ノスリ(1) 飛翔 中野久夫
- 4.04 [下沼田] ノスリ(1) 電柱にとまる 鈴木静治
- 4.05 [岡発戸新田] アライ(1) 枯れ草の上に

- とまる 鈴木静治・谷山晴男・猪爪敏夫
・間野吉幸・金子雅幸・蒲田知子
- 4.06 [岡発戸新田] トビ(2) 上空高く飛ぶ
鈴木静治・谷山晴男・猪爪敏夫
・間野吉幸・金子雅幸・蒲田知子
- 4.07 [発作] ハヤブサ(1) 鉄塔上にとまる
鈴木静治
- 4.08 [片山新田先手賀沼] アマビ(2) 13:15、
葦原の中で休んでいた
飯泉仁・飯泉久美子
- 4.08 [北新田] セイカギ(2) 水張り田で採
餌
中野久夫
- 4.09 [布佐] トビ(1) 駅の上空を通過
鈴木静治
- 4.10 [下沼田] ノスリ(1) 電柱にとまる
鈴木静治
- 4.10 [発作] トビ(1) 川の上を飛ぶ
鈴木静治
- 4.10 [布佐] アトリ約 20 桜の花柄を啄ばむ
鈴木静治
- 4.10 [布佐] ヤマガラ(2) 木の梢にとまる
鈴木静治
- 4.10 [北新田] ムクド(1) 鳴きながら飛翔
中野久夫
- 4.11 [江蔵地] チョウナンボウ(1) 農道の電柱
にとまる
鈴木静治
- 4.12 [発作] トビ(2) 上空で 2 羽がハシボ
ソガラス 1 羽を追い払う
鈴木静治
- 4.12 [布瀬] ノスリ(1) 電柱にとまる
鈴木静治
- 4.13 [つくしヶ丘 5 丁目] ヤマガラ(1) 8:53、
鳴きながら移動
飯泉仁
- 4.14 [岡発戸新田] トビ(1) カラス 2 羽にモビ
ングされる
鈴木静治
- 4.14 [布瀬] チョウナンボウ(1) 14:40、谷津田
上空を飛翔
飯泉仁・飯泉久美子
- 4.14 [布瀬] サバ(1) 15:12、谷津田の林縁
の枝に止まっていた
飯泉仁・飯泉久美子
- 4.16 [片山新田] ノスリ(1) 田の電柱にとま
る
鈴木静治
- 4.16 [下沼田] チョウナンボウ(1) 電線にとま
るもカラス 2 羽に絡まれる
鈴木静治
- 4.16 [水道橋] 材カ(1) 堤防の葦と田の叢
の間を行き来する
鈴木静治
- 4.16 [手賀新田] トビ(1) 川の上空を飛ぶ
鈴木静治
- 4.16 [柳戸] ハヤブサ(1) 田の上空を飛び去
る
鈴木静治
- 4.17 [発作] トビ(1) 強風を利用して飛ぶ
鈴木静治
- 4.18 [北新田] トビ(1) カラスに追われる
中野久夫
- 4.20 [中里新田] ムクド(10) 15:30、水の入
った水田で採餌
飯泉仁・飯泉久美子
- 4.22 [北新田] クサギ(4) 4 号排水路で
中野久夫
- 4.22 [北新田] ハヤブサ(1) 電柱上
中野久夫
- 4.22 [下沼田] ノスリ(1) 杭にとまる
鈴木静治
- 4.22 [千間橋] トビ(1) 電柱にとまる
鈴木静治
- 4.22 [布瀬新田] アマビ(2) 川の上を 2 羽
で飛び、水田に降りる
鈴木静治
- 4.22 [北新田] オオシキリ(1) 休耕畑で囀り
中野久夫
- 4.23 [北新田] クサギ(4) 4 号排水路で
中野久夫
- 4.23 [北新田] ノスリ(1) 越流堤横柳上
中野久夫
- 4.23 [下沼田] トビ(1) 川で魚をとり上空
高く飛ぶ
鈴木静治
- 4.25 [発作] トビ(1) 田の近く草むらで採
食
鈴木静治
- 4.25 [発作] ムクド(10) 水が入り耕されて
いない田の畦近くで休む
鈴木静治
- 4.25 [発作] キョウゾウシキ(1) ムクドの群れに
入る
鈴木静治
- 4.26 [北新田] ハヤブサ(1) 電柱上
中野久夫
- 4.28 [発作] オオシキリ(2) 葎原で鳴く
鈴木静治
- 4.29 [発作] ホオアカ(1) 葎の先にとまる
鈴木静治
- 5.01 [北新田] クサギ(6) 金谷水門で
中野久夫
- 5.02 [岡発戸新田] ムクドリ(2) 柳の繁みで
採食
鈴木静治・谷山晴男・猪爪敏夫
・間野吉幸・金子雅幸・池田日出男・船津登
- 5.03 [布佐平和台] センダイシキ(2) 森の中
で囀る
鈴木静治
- 5.03 [布佐平和台] キツク(1) 森の木のの上
部で囀る
鈴木静治
- 5.05 [大井新田先手賀沼] ミサコ(1) 15:37、水
面の杭に止まっていた
飯泉仁・飯泉久美子

- 5.05 [柏市内南部] ツミ(1) 10:20、成鳥雄、
餌を運んできて木の枝で採食
飯泉仁・飯泉久美子
- 5.05 [柏市内南部] センガ イシイ(1) 9:50、林
縁で囀る 飯泉仁・飯泉久美子
- 5.05 [片山新田先手賀沼] トビ(1) 14:56、
葦原上空を旋回 飯泉仁・飯泉久美子
- 5.05 [布瀬] サバ(1) 14:26、林縁で鳴いて
いた 飯泉仁・飯泉久美子
- 5.05 [発作] コミズク(1) 13:33、畑地から飛
び立つ 飯泉仁・飯泉久美子
- 5.05 [発作] ウズラ(1) 13:43、畑地で飛び立
つ 飯泉仁・飯泉久美子
- 5.05 [若白毛] サバ(1) 15:55~16:10、コ
ビニンス隣りの街路灯の上にとまり、周囲
を警戒 飯泉仁・飯泉久美子
- 5.05 [発作] キアシキ(2) 12:48、下手賀川
東側の田んぼで休んでいた
飯泉仁・飯泉久美子
- 5.08 [北新田] フヨウノボウ(1) 飛翔
中野久夫
- 5.08 [浅間前] フヨウノボウ(1) 水田の上を
低空滑空 鈴木静治
- 5.08 [浅間前] キアシキ(4) 田植え後の水田
で採食 鈴木静治
- 5.09 [発作] チウシャクシギ(1) 水田で採食
鈴木静治
- 5.10 [北新田] セイカキ(1) 水張り田で採
餌 中野久夫
- 5.10 [北新田] トビ(1) カラスに絡まれる
中野久夫
- 5.12 [北新田] フヨウノボウ(1) 飛翔
中野久夫
- 5.13 [北新田] カッコウ(1) 河川敷で鳴き声
中野久夫
- 5.13 [北新田] フヨウノボウ(1) 飛翔
中野久夫
- 5.13 [下沼田] フヨウノボウ(1) 水田の上を
飛ぶ 鈴木静治
- 5.14 [浅間前] フヨウノボウ(2) 2羽で飛び電
線、電柱にとまる 鈴木静治
- 5.14 [手賀沼] ハヤブサ(1) 上沼辺 1
染谷迪夫・木村稔・田中功
- 5.15 [北新田] カッコウ(1) 河川敷で鳴き声
中野久夫
- 5.15 [浅間前] ヒバリシギ sp(1) 畦の端の
中に飛んで来て入る 鈴木静治

- 5.16 [布佐平和台] フヨウノボウ(1) 上空高
く旋回する 鈴木静治
- 5.17 [北新田] カッコウ(1) 河川敷で鳴き声
中野久夫
- 5.17 [東中新宿] トビ(1) 23:10、自宅周
辺を鳴きながら移動 飯泉仁
- 5.18 [浅間前] フヨウノボウ(1) 電線にとま
る 鈴木静治
- 5.20 [柏市内南部] ツミ(1) 14:16、鳴きなが
ら出現 飯泉仁・飯泉久美子

今回寄せられた鳥の全種名

アオサギ、アオジ、アカゲラ、アカハラ、ア
トリ、アマサギ、アリスイ、イソシギ、イソ
ヒヨドリ、ウグイス、ウズラ、ウソ、ウミネ
コ、エゾムシクイ、エナガ、オオジュリン、
オオハクチョウ、オオバン、オオヨシキリ、
オナガ、カイツブリ、カシラダカ、カッコウ、
カルガモ、カワウ、カワセミ、カワラヒワ、
カンムリカイツブリ、キアシシギ、キジ、キ
ジバト、キビタキ、キョウジョシギ、クイナ、
クサシギ、コアジサシ、ゴイサギ、コガモ、
コゲラ、コサギ、コチドリ、コブハクチョウ、
コミミズク、コムクドリ、サシバ、シジュウ
カラ、シメ、ジョウビタキ、シロハラ、スズ
メ、セイタカシギ、セグロカモメ、セグロセ
キレイ、セッカ、センダイムシクイ、ダイサ
ギ、タシギ、タヒバリ、タマシギ、チュウサ
ギ、チュウシャクシギ、チョウゲンボウ、ツ
グミ、ツバメ、ツミ、トウネン、トビ、ノス
リ、ハクセキレイ、ハシブトガラス、ハシボ
ソガラス、ハマシギ、ハヤブサ、バン、ヒド
リガモ、ヒバリ、ヒヨドリ、フクロウ、ベニ
マシコ、ホオアカ、ホオジロ、ホトトギス、
マガモ、ミサゴ、ミヤマガラス、ムクドリ、
ムナグロ、メジロ、モズ、ヤマガラ、ユリカ
モメ

計 91 種

< 番外種 >

エジプトガン、カワラバト、コジュケイ

今回の投稿者の総投稿件数

安野昌彦	95
飯泉仁	325
飯泉仁・飯泉久美子	206
飯泉久美子	1
木村稔	1

鈴木静治	458
鈴木静治・谷山晴男・猪爪敏夫	
・間野吉幸・金子雅幸・蒲田知子	22
鈴木静治・谷山晴男・猪爪敏夫・間野吉幸	
・金子雅幸・池田日出男・船津登	20
染谷迪夫・木村稔・田中功	23
田中功	3

中野久夫	110
平岡孝	7
平岡孝、齋藤武馬ほか	1
松田幸保	1
総計	1273

(浅井久)

平成 25 年度定期総会報告

平成 25 年 4 月 14 日(日) 13 時 30 分～14 時 45 分、水の館 3 階研修室において平成 25 年度定期総会が開催されました。平成 24 年度事業報告及び決算報告・会計監査報告、平成 25 年度事業計画及び予算、役員改選について討議の結果、すべて原案通り承認されました。承認後、宮下旧副会長、古出新副会長の新旧挨拶が行われました。総会出席者は 29 名でした。

平成 25 年度事業計画

1. 探鳥会の実施

定例手賀沼探鳥会

原則、毎月第 2 日曜日に手賀沼を中心に午前中探鳥します。

遠出探鳥会

地元を離れ、遠隔の探鳥地を訪ねます
1泊2日の探鳥会を3~4回、近郊日帰り探鳥会を9~10回程度実施します。

第 24 回バードウィーク手賀沼探鳥会
Enjoy 手賀沼！イベントの一環として、我孫子市鳥の博物館との共催で市民対象の手賀沼周辺の探鳥会を実施します。
市民手賀沼探鳥会

我孫子市環境レンジャーとの共催で、手賀沼の冬鳥の探鳥会を実施します。
手賀沼親子ふれあい探鳥会
手賀沼流域フォーラム地域企画の一環として、手賀の丘公園～染井入落コースで親子ふれあい探鳥会を実施します。

2. 野鳥等の調査及び保護

手賀沼水鳥カウント

手賀沼で見られる水鳥の種類と個体数

を毎月 1 回調査します。1977 年から続けています。

手賀沼ビオトープの鳥類調査

手賀沼ビオトープとその両サイドで見られる鳥類の種類と個体数を毎月 1 回調査します。1999 年から続けています。

データベースの整備・構築

手賀沼水鳥カウント、会員からの鳥情報、更に会員撮影による野鳥等のファイルをデータベースとして整備・構築します。
傷病鳥の保護等

市内外で発見された傷病鳥や幼鳥などを保護・飼育し、快復後放鳥します(県鳥獣保護ボランティア活動の一環)。

3. 環境保全活動

クリーン運動に参加

手賀沼ふれあい清掃及び手賀沼統一クリーンデーに参加します。

美しい手賀沼を愛する市民の連合会の活動に参加

同会の構成団体として、手賀沼流域フォーラム、手賀沼の浄化活動等に積極的に参加します。

ホテルの夕べ

我孫子市鳥の博物館友の会と共催でホテルの観察会を行います。

4. 広報啓発活動

会報の発行、配布

会報「ほーほーどり」を隔月に発行・配布して会員間のコミュニケーションをはかります。公共機関、学校、友好団体、報道関係等に贈呈し、当会の PR 及び人と野鳥が共存できる環境づくりの大切さを知らせます。

ホームページの運営

運営委員会を開催し、内容の充実をはかります。

メーリンググループの運営

会員相互の情報連絡手段の重要なツールとして、利用者の増加と友好活用の検討をしていきます。

对外広報

当会の活動内容や手賀沼周辺の野鳥情報等の発信を積極的に行います。

探鳥会の指導

学校や他の団体等から手賀沼周辺の観察依頼を受けた時は、可能な限り対応します。

对外発表等

当会の活動内容を積極的に情報発信し、当会のPRをします。又、地元で開催される環境や野鳥に関するイベントには積極的に参加し、会員の日常活動の成果を発表します。

5. 創立 50 周年に向けて「次の一步の取組み」

新入会員向けのオリエンテーションを実施します。

会員向けの「守る会野鳥サロン」を平日定例会として開催します。

楽しい雰囲気(茶菓あり)の中で、野鳥・環境等の知識が自然に身に付く機会とします。

一般向けの啓発活動の一つとして「守る会の活動報告」を発信します。半年に1回、パンフレット形式で一般向けにPRします。

会員からの提案を積極的に採り入れ、当会の発展につなげます。

鳥類目録変更に伴い、「確認された鳥リスト」の見直しを検討します。

データベースの内容充実と積極的活用により、情報発信に努めます。

6. その他

映写会の開催

会員が撮影した野鳥・昆虫・草木・風景などの写真やビデオ等を観賞するとともに、識別・生態・環境変化等の勉強の場とします。

会議の開催

定期総会(4月) 役員会(年6回隔月) 事務局会議(年6回隔月)を定

例的に開催し、当会の運営上の諸問題を検討、対処していきます。

会員の親睦行事

季節に応じ、会員の親睦を図るための行事を企画します(納涼・昼食懇親会、芋煮会)。

行政機関等の委員会等への協力

行政機関等の委員会等に積極的に参加し、意見提案や情報発信をします。

平成 24 年度決算および平成 25 年度予算

(単位 円)

	24 年度決算	25 年度予算
収入の部		
会費	293,000	300,000
会行事収入	1,461,300	1,500,000
その他の収入	442,803	0
前年度繰越金	624,710	984,194
合計	2,821,813	2,784,194
支出の部		
野鳥の部	1,480,085	1,540,000
環境保全の部	2,600	10,000
啓発活動の部	220,928	250,000
庶務の部	80,260	104,000
その他費用	6,845	50,000
40 周年記念事業	46,901	0
別途積立金	0	300,000
次期繰越金	984,194	530,194
合計	2,821,813	2,784,194

役員改選

会長	間野 吉幸(再任)
副会長	野口 隆也(再任)
	古出 洋子(新任)
会計監査	六角 昭男(再任)
	類地 佑子(再任)

任期：平成 25 年度～26 年度

5月役員会報告

日時 5月12日(日) 13:30~16:20
 場所 我孫子北近隣センター 並木本館
 会議室3

1. 平成25年度下期行事計画について資料に基づき検討し、次の通り決定しました。

期 日	平成25年度下期行事
10/3(木) 10/5(土) 10/13(日)	ビオトープ調査 秋ヶ瀬公園探鳥会 午前:手賀沼定例探鳥会、 カウント
11/2(土) 3(日) 11/7(木) 11/8(金) 11/10(日)	ジャパンバードフェスティバル ビオトープ調査 長寿大学探鳥指導 午前:手賀沼定例探鳥会、 カウント 午後:役員会
11/16(土) 17(日)	福島潟・朝日池探鳥会 " (場合によっては 日帰り)
11/24(日)	親子ふれあい探鳥会 (流域フォーラム主催)
11/30(土)	我孫子市民フェスタ
12/1(日)	我孫子市民フェスタ 統一クリーンデー、ふれ あい清掃
12/5(木) 12/8(日)	ビオトープ調査 午前:手賀沼定例探鳥会、 カウント
12/15(日) 12/23(月祝)	芋煮会 潤沼探鳥会
1/5(日)	小見川・神之池・江戸崎 探鳥会
1/9(木) 1/12(日)	ビオトープ調査 午前:手賀沼定例探鳥会、 カウント 午後:役員会
1/18(土) 19(日)	佐久・軽井沢探鳥会 "
1/26(日)	市民手賀沼探鳥会 (環境レンジャー共催)

2/1(土)	井頭公園探鳥会
2/6(木)	ビオトープ調査
2/9(日)	午前:手賀沼定例探鳥会、 カウント
2/16(日)	渡良瀬遊水地探鳥会
3/2(日)	銚子カモメ探鳥会
3/6(木)	ビオトープ調査
3/9(日)	午前:手賀沼定例探鳥会、 カウント 午後:役員会

2. 会報233号掲載予定記事について資料に基づき検討の上、決定しました。
3. 平成25年度役員と事業別分担について資料に基づき協議の結果、一部修正の上、承認されました。
・新任幹事として石渡、小澤、松下の3名が異議なく承認
4. 新入会員オリエンテーションについて資料に基づき検討し、異議なく了承されました。
・対象は24年度以降の新入会員+希望する会員
・会のシンボルマーク入り名札を作成
5. 守る会野鳥サロンについて資料に基づき検討し、異議なく了承されました。
・7月以降隔月の平日に実施、初回は事務局が担当、次回以降は全役員の持ち回り(4~5人/回)担当
6. ジャパンバードフェスティバル2013事業確認と出展申込資料に基づき検討し、了承されました。
7. 報告事項
美手連関連として、「亀成川を愛する会」からの環境保全に関する要望書の署名活動に対する賛同団体への登録について異議なく了承
JBF第1回実行委員会の報告
我孫子市緑の基本計画見直し委員会委員に蒲田さん推薦
我孫子市国際交流フェスタで、台

湾野鳥保育協会との交流内容をパネル展示
第10回手賀沼学会大会で、当会としてパネル展示

メーリングリスト ab-yacho のマナーとして、探鳥会等の案内に対する返信は ab-yacho 宛ではなく、必ず担当個人宛にすることを確認

8. その他

投稿（前号からの続き）

我孫子市近郊、印西市の鳥見（その2）

～コバクチョウ、シギチ、コハクチョウ、オシドリの群れ～

鈴木静治

3. 本埜のコハクチョウ

最近、我孫子周辺でコハクチョウの群れを時折見るようになってきました。2012.11.18 利根川を1羽で泳ぐのを、2013.2.2 手賀川上空をコハクチョウ25羽が逆V字型に編隊を組んで鳴きながら飛ぶのを、2013.3.20 布佐市民の森の上空をコハクチョウ4羽が1列縦隊で鳴きながら飛ぶのを見えています。本会会員により手賀沼、北新田でも観察されています。これらコハクチョウが見られるのも、本埜の千羽も飛来するコハクチョウと関係あると思われる。渡りの途中又は食物を求め遠くまで遠征しているのでしょうか。本埜のコハクチョウの飛来経過を調べてみますと、1992年本埜の農地改良(乾田化)した時、たまたま工事の関係で水を張っていた田に6羽のコハクチョウが降り立ったのが始まりで、毎年飛来するように田に水を張り(冬みずたんぼ)、大勢の人が協力して給餌したことにより毎年千羽のハクチョウが飛来するようになったものです。2002年に家族で見に行ったのが始めて、コハクチョウを数百羽見た記憶があります。平成23年度のガンカモ一斉調査では、コハクチョウ829羽、アメリカコハクチョウ4羽、オオハクチョウ24羽となっています。日本全国では39,946羽で、1万羽以上は新潟県、2千羽台は福島県、山形県、鳥根県、宮城県、千羽台は石川県、千葉県、長野県、5百-6百羽台は茨城県、滋賀県、富山県、3百羽台は群馬県です。従って本埜は千葉県1,385羽のうち829羽で、関東では一番多くコハクチョウが見ることのできる場所です。本埜、多々良沼・城沼(群馬県)でコハクチョウの群れを見ているとアメリカコハクチョウ(亜種)が混じっていることがあります。ハクチョウは生まれて1年目に親に連れられて越冬地、日本にシベリアから渡ってきますが、1度で渡りのルート覚え、次から若鳥だけで渡ります(親鳥と偶然一緒になることもあります)ので、その家族は、次の年も飛来する可能性が高いのです。会員の中野さんの話によりますと、10年位前に多々良沼でアメリカコハクチョウを1-2羽見ておられますが、2013.1.26 城沼で4羽(成鳥2羽、幼鳥2羽)を認めていますので、その家族がきているかもしれないとのことでした。なお、本埜のように多くのハクチョウが飛来しますと、その中に珍鳥、2012.1 頃飛来したソデグロヅル(本来シベリアから中国、インドに渡る)、マガン等が混じることがありますので、本埜の冬みずたんぼは貴重な存在です。

4. 別所のオシドリ、ヨシガモ

「亀成川を愛する会」の依頼により2012年、1回/月、1年間、間野さんを中心に、松本(勝)さん、木村さん等が行った鳥類調査で、私はオシドリ、ヨシガモが見えると聞き4月より同行させて頂いた。この時は冬鳥が帰りかけている頃で、やや数が少なかったが、それでもオシドリ、ヨシガモが十数羽見られました。今までオシドリといえば2003.5.1 残雪の上高地の河童橋近くでオシドリの雄雌を間近で見えて感激したことを今でも覚えています。この時、雄は直ぐ分かりましたが、地味な灰色の鳥は幼鳥かと思いました。後で調べてみますと雌であ

ることが分かりました。雌を覚えたおかげで、2008.10.24 軽井沢の雲場池の中の島でオシドリの雌を見た時には、近くに隠れていた雄も見つけられました。我孫子周辺では、2004.3.17 布佐市民の森の調整池でオシドリの雄を、2006.10.8 手賀沼ピオトープの池で雄を、2007.3.8 柏市ふるさと公園の池で雄雌を、2011.10.9-10 手賀川で雄雌を観察しています。他にも手賀沼カウント班では2010.10.12、2羽、2011.10.9、1羽記録しています。2007.2.25 奥妙義探鳥会ではあまり多くは見られず、明治神宮・北池にいと聞いて、2007.12.21 に行ってみたところ数十羽見ることが出来ました。しかし、ここ別所では2012.4 に数十羽、2013.1-3 月に多い時で40-50羽、11-12月には多い時で70羽見えています。この時は始め20羽程度しか確認できませんでしたが、突如調整池の水面近くをハヤブサが滑空したのに驚き、池の岸近くの木の繁みに隠れていたオシドリが一斉に飛び立ち2つある他の池に着水し70羽のオシドリが池を泳ぐのを見ることが出来ました。この調査が終了した2012.2.2 小雨混じりで強風の日、オシドリとカワセミを見ようとの主旨で「亀成川を愛する会」主催、本会の有志の協力で探鳥会が開催されましたが、この時はなんと約200羽のオシドリが見られました。これだけ多くのオシドリ、霞ヶ浦の高浜湖畔で遠くにしか見えないヨシガモを含むカモ類が十種類位、時々ベニマシコ、マヒワ、カワセミ等も見られる場所は関東でも少ないでしょう。一年間観察しますと、鷹(トビ、ノスリ、オオタカ、サシバ等)、春秋にはカケスの大群を見たこともあります。我孫子周辺で渡りの時期にオシドリが、時々見られたのもここ別所で越冬する渡りの途中であったのであろうと思われ、納得しました。なお、来年度も別所でオシドリに再会したいと思っていますが、別所調整池の周りは宅地開発中で、「亀成川を愛する会」の努力で調整池は残されることになりましたが、片側の池の周りの木は切られましたので、どの位、来季は見られるでしょうか。

以上印西市にある3か所の探鳥地、発作(コバクチョウ、シギチ)、本埜(コバクチョウ)、別所(オシドリ、ヨシガモ)を紹介しましたので探鳥の際の参考にさせて頂ければと思います。なお本文は本会の手賀沼の鳥(2012)、神谷要：千葉県本埜村のコバクチョウを観察に行ってきました 日本の白鳥(23)30-35(2004)等を参考に記載しました。

「我孫子野鳥を守る会写真集2013」の募集

今年も「我孫子野鳥を守る会写真集」の応募写真を募集します。この写真集は2007年に始まりましたので今年で7回目になります。

この写真集は会員の撮影した写真をCD-RやDVD等のメモリーに集約・記録して、会の活動に役立てることを目的にしています。

過去6回の写真集は会の活動に大きく寄与しています。

募集要項をご覧の上、奮って応募してください。

[募集の要項]

1. 募集写真

会員の撮影した下記テーマの写真を募集します。

テーマ： 鳥、動物、植物、風景、会の活動

国内、国外を含みます。

撮影日は何時であっても構いません。

ただし2007～2012年の写真集に入っているものは除きます。

2. 応募写真の条件

以下の条件を確認ください。

デジタル写真であること。

トリミング、レタッチ済であること。

大きく印刷することもあるため、極端にトリミングしたものは不可。

リサイズしないもの(小さくしない?ピクセル数は原画をトリミングしたまま)であること。写真の大きさは目的によって変わるが、写真の内容によって小さくても価値のあるものは必要と思うので応募者に一任する。

写真の縦横は自由。

デジタル写真の拡張子は .jpg または .JPG であること。

3. 応募写真のファイル名

写真のファイル名は題名、撮影地、撮影年月日、撮影者氏名、管理番号としてください。

題名は先頭に置き、撮影地以下は順不同。

題名は鳥や動物、植物なら種名をカタカナで、不明なら不明と漢字で記入。

カタカナは全角にかぎる。種名がこの種と思われるが確定できないときはカタカナの種名の後ろに?(全角であること、半角はファイル名に使えない)をつける。

会の活動の場合は行事名を題名にする。

撮影地は簡明に漢字などで記入。

撮影年月日は YYMMDD の形式で必ず 6 桁で記載。

例: 2010 年 4 月 15 日なら 100415 のように記入。

撮影者氏名は姓名を漢字などで記入。

管理番号は撮影者の必要とする管理番号があれば記入する。

各項目が混同する恐れがあれば適当にハイフンなどで区別する。

[例] ハチジョウツグミ?北本自然公園 080306-155-028 西巻 実.jpg

JBF2006 手賀沼公園 061103-3-020 西巻 実.jpg

4. 注意事項

写真にタグを付けている方は消して下さい。撮影情報は残して下さい。

5. 応募方法

写真は次のフォルダーに入れて CD-R などで応募ください。

- ・鳥国内
- ・鳥国外
- ・自然物 動物、植物、風景など自然のもの。国外も含む。
- ・活動 会の活動

なお応募に使用された CD - R 等は返却いたしませんので悪しからず了承ください。

応募者には“写真集 DVD”作成後ご提供いたします。

6. 応募締め切り

2013 年 7 月 31 日 必着。

7. 送付先

〒277-0921 柏市大津が丘 3-48-5 相良直己宛

8. 応募写真の取り扱い

<写真集 DVD の作成と配布>

応募いただいた写真は「我孫子野鳥を守る会 2013 年度写真集」DVD に収録されます。

DVD は応募者、当会役員会メンバーに配布され、当会の活動に活用されます。

<収録写真活用に関する条件>

我孫子野鳥を守る会では、役員会での決定により、当写真集掲載写真の活用に関し、以下の条件の下で、撮影者の皆様より、当会に一任頂いています。

収録写真の活用が当会の設立趣旨、当会の目的に逸脱せず、当会の活動に資する目的であること

収録写真の公開に当たっては、撮影者名を必ず明記すること
9. ご連絡 / お問い合わせは
担 当：相良直己まで Tel : 04 7191 3108

お知らせとお詫び

<メーリングリストへのお誘い>

PCのメールアドレスをお持ちの方で、現在「ab-yacho」が流れていない方はメーリングリストに未登録の状態です。「ab-yacho」は、2か月に1度発行の会報「ほーほーどり」をカバーすべく、最新の鳥情報や行事の詳細・申込状況などをお知らせして居ります。未登録の方は是非ご加入頂く様、お勧め致します。

・申 込：金子雅幸まで（追記）

「ab-yacho」で募集される行事などに申込の際、そのまま返信をされる事はお控え下さい。当事者以外の方には迷惑メールにもなりかねませんので、担当幹事あての直接メールを使用する様、お願い致します。

<ご寄附> 山野辺 伸作さんよりご寄付を頂きました。厚くお礼申し上げます。

<新入会員紹介> 藤川敏彦（八千代市）

<訂正とお詫び>

ほーほーどり前号の古出さんの寄稿文中、「非常情市」は正しくは「悲情城市」でした。訂正しお詫び申し上げます。

<お願い> 会員便りをお待ちしています。ふるってご投稿ください。

ほーほーどり No. 233 (2013年7～8月号)

発 行 2013年7月1日

発行人 間野吉幸

編集人 猪爪敏夫、古出洋子、小玉文夫、佐々木隆、野口紀子、松本勝英、宮下三禮

事務所 〒270 1154 我孫子市白山3-8-16-104 間野方

連絡先 〒277 0005 柏市柏1001-5 野口隆也 Tel 04 7163 7898

U R L <http://abikoyacho.org/>

郵便振替 00140-2-647587 我孫子野鳥を守る会

会 費 年会費 2,000 円（大学生・高校生 1,000 円、中学生以下 500 円、家族会員 無料）